

相談の大切さ

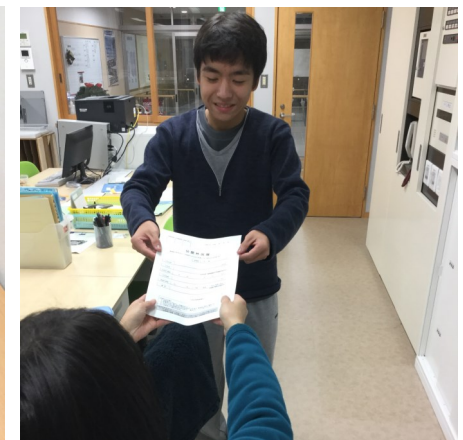
例えば・・・

帰舎日の調整の場合

※H29年度より、女川高等学園では、通学手段の都合上、日曜日の帰舎も可能としています。

今回は、自分の予定や活動について保護者と調整したり、先生に事前に報告したりすることについて紹介します。

将来、社会生活を送るためには、相手へ“事前に伝えておく”ことが重要です。女川高等学園では、様々な手続き用紙を準備しており、自ら予定を知っておく大切さや、手続きのすすめ方も指導しています。



まずは家で保護者の方と相談しましょう。自分の気持ちだけで行動するのではなく、大人の方の意見を参考にすることが大切です。“相手の意見を聞く”ことが、将来自分で判断する力になります。

次に、舎の先生に相談して、手続きに使う用紙をもらいます。
帰舎の届出は、^{とどけ}前の月のうちに^{はあく}出します。

どんな予定で帰舎するか、日時や場所を知っておきましょう。家庭で相談してきた内容を、用紙に自分で記入することも、予定を把握するためには必要です。

記入したら、期日まで舎の先生に渡します。

事前に相談すると、自分だけではなく、相手にとっても予定や計画を共有することで、スムーズに物事がすすみます。